

レースっていいよね

- 第2回 - 「恋愛とレースの関係!？」の巻

うーん、共通点なんてあるんかいな?ふふふ…あるですよ、しっかりと。何故なら両方ともヒト1人では成立せんでしょう?男と女、レーサーとチーム。例えば、恋愛の場合長く付合う秘訣は互いを思いやり、ある程度の距離を保ちつつ興味を持つこと、そして絶対的な信頼関係がありしかもどちらかに主導権があること、ではないでしょうか。

我々も同じ。所詮ヒトの子ですから心のウエイトとバランスによって左右されるのです。ですから上手に互いの関係を築かなくてははいけません。レーサーはいくら素質があっても一人では走れません。自分の為に尽くしてくれる良き理解者、チーム(エンジニアやメカニック)に恵まれて初めて「速く」走れるのです。安心して全開できるのはマシンへの信頼であり、それはチームの信頼でもあるんですね。レーサーは走りに専念し、チームは走らせることに専念する。一度ピットを離れば、我々送り出す側はひたすら時計を気にしながらチェッカーまで相手を信じて待つことしか出来ません。まるで一途な奥さんみたいでしょ!?調子が悪い時は一緒に悩み、愚痴を聞いて解決に向けて努力する。慰めて、なだめて、励まして、時には怒って見せて。

マシンも大事ですがレーサーを人間として上手にコントロールしてやるのもチームの大切な仕事です。こんな関係、変だけどもある種の疑似恋愛と呼べませんか?目標に向かって一緒に頑張り、いい仕事が出来た時の相手は忘れられないものです。(※注:妙な仲ではない、念の為…)要はどれだけコミュニケーション出来るかという訳で、これって難しいんですよ。気も遣うし疲れるし、でも満足できる結果が出るとマイナスもプラスになる!!あっ…。そうか、ここでこんな事して疲れてるからクタクタで本当の恋愛に手が出せないのか。なんてこった!!

今気が付いた!! あちゃー……